平成27年第3回大仙市議会定例会会議録第1号

平成27年8月27日（木曜日）

議事日程第1号

平成27年8月27日（木曜日）午前10時開議

故 細谷洋造 議員に対する黙祷及び追悼演説

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定 (22日間)

第 3 議長報告

- ・平成26年度大仙市継続費精算報告書
- ・平成26年度決算における健全化判断比率
- ・平成26年度決算における資金不足比率
- ・請願に係る処理の経過及び結果報告書
- ・教育に関する事務の点検・評価報告書（平成26年度事業）
- ・例月現金出納検査結果
- ・議会動静報告書

第 4 市政報告

第 5 教育福祉常任委員会副委員長の選任

第 6 広報広聴常任委員会委員の補充選任

第 7 広報広聴常任委員会副委員長の選任

第 8 議案第90号 大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
(説明)

第 9 議案第91号 大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
(説明)

第10 議案第92号 大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例の制定について
(説明)

第11 議案第93号 大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定について
(説明)

- 第 1 2 議案第 9 4 号 大仙市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
(説 明)
- 第 1 3 議案第 9 5 号 大仙市立仙北就業改善センター条例を廃止する条例の制定に
ついて
(説 明)
- 第 1 4 議案第 9 6 号 大仙市と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に關す
る協議について
(説 明)
- 第 1 5 議案第 9 7 号 平成 2 7 年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更
について
(説 明)
- 第 1 6 議案第 9 8 号 平成 2 7 年度大仙市一般会計補正予算 (第 4 号) (説 明)
- 第 1 7 議案第 9 9 号 平成 2 7 年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算 (第 2
号)
(説 明)
- 第 1 8 議案第 1 0 0 号 平成 2 6 年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
(説 明)
- 第 1 9 議案第 1 0 1 号 平成 2 6 年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
の認定について
(説 明)
- 第 2 0 議案第 1 0 2 号 平成 2 6 年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の
認定について
(説 明)
- 第 2 1 議案第 1 0 3 号 平成 2 6 年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
の認定について
(説 明)
- 第 2 2 議案第 1 0 4 号 平成 2 6 年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認
定について
(説 明)
- 第 2 3 議案第 1 0 5 号 平成 2 6 年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定に
ついて
(説 明)
- 第 2 4 議案第 1 0 6 号 平成 2 6 年度大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認
定について
(説 明)
- 第 2 5 議案第 1 0 7 号 平成 2 6 年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の
認定について
(説 明)
- 第 2 6 議案第 1 0 8 号 平成 2 6 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳
入歳出決算の認定について
(説 明)

- 第27 議案第109号 平成26年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第28 議案第110号 平成26年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第29 議案第111号 平成26年度大仙市老人デイサービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第30 議案第112号 平成26年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第31 議案第113号 平成26年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第32 議案第114号 平成26年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第33 議案第115号 平成26年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第34 議案第116号 平成26年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第35 議案第117号 平成26年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第36 議案第118号 平成26年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (説明)
- 第37 議案第119号 平成26年度市立大曲病院事業会計決算の認定について (説明)
- 第38 議案第120号 平成26年度大仙市上水道事業会計決算の認定について (説明)

出席議員（26人）

1番 富岡喜芳	2番 秩父博樹	4番 佐藤隆盛
6番 佐藤育男	7番 石塚 柏	8番 藤田和久
9番 佐藤文子	10番 小山緑郎	11番 茂木 隆
12番 佐藤芳雄	13番 古谷武美	14番 武田 隆

15番	金谷道男	16番	高橋幸晴	17番	大野忠夫
18番	小松栄治	19番	渡邊秀俊	20番	佐藤清吉
21番	児玉裕一	22番	高橋敏英	23番	千葉健
24番	大山利吉	25番	本間輝男	26番	鎌田正
27番	橋本五郎	28番	橋村誠		

欠席議員（1人）

5番 後藤 健

遅刻議員（0人）

早退議員（2人）

12番 佐藤芳雄

28番 橋村 誠

説明のため出席した者

市長	栗林次美	副市長	久米正雄
副市長	老松博行	教育長	吉川正一
総務部長	佐藤芳彦	企画部長	小松英昭
市民部長	高階 仁	健康福祉部長	小野地 淳司
農林商工部長	今野功成	建設部長	朝田 司
上下水道部長	岩谷友一郎	病院事務長	柴田敬史
教育指導部長	千田寿彦	生涯学習部長	山谷喜元
次長兼総務課長	伊藤義之		

議会事務局職員出席者

局長	木村喜代美	次長	伊藤雅裕
参事	堀江孝明	副主幹	齋藤孝文
副主幹	富樫康隆	主査	佐藤和人

午前10時01分開会

○議長（橋村 誠） おはようございます。

これより平成27年第3回大仙市議会定例会を開会いたします。

議事に入ります前に申し上げます。

去る8月23日、細谷洋造議員がご逝去されました。哀悼痛惜の極みであります。

ここに故人のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げたいと思います。皆様のご起立をお願いします。

黙祷始め。

【黙 祷】

○議長（橋村 誠） 黙祷を終わります。ご着席ください。

10番小山緑郎議員から追悼演説の申し出がありますので、これを許可いたします。

10番小山緑郎議員。

（「はい、10番」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） はい。

【10番 小山緑郎議員 登壇】

○10番（小山緑郎） 追悼の言葉

議長よりお許しをいただきましたので、去る8月23日、ご逝去されました故大仙市議会議員細谷洋造教育福祉常任委員会副委員長に謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

平成27年第3回大仙市議会定例会本会議場の3番の議席には、在りし日の遺影とお花が手向けられ、ご逝去後、秋に向かう涼しげな風の音さえも悲しく、皆が深い悲しみの中におります。

細谷副委員長は、JR東日本株式会社に奉職され、在職時の労働組合活動の実績と、その人望が支持され、社会民主党県議会議員の事務所事務長を務め、その政治活動から、平成25年9月22日に執行された大仙市議会議員一般選挙において初当選、以来1年11カ月にわたり優れた識見をもって地域振興に努められ、この間、教育福祉常任委員会副委員長、議会報編集委員会副委員長、平成27年3月からの広報広聴常任委員会副委員長の要職を務められ、市政発展と市議会の円滑な議会運営にご尽力され、多大なご功績を残されました。特に議会だよりの編集では、率先して原稿執筆を担当し、市民に読まれる紙面の作成に意を傾けました。

昨年2月頃、市の大腸がん検診の研究（比較試験）に参加し、大腸がんが見つかったので、研究代表者である昭和大学工藤進英教授のもとで手術を受けるということで、平成26年第1回定例会を休まれ、手術は成功され、復帰した時には、工藤教授が執筆した本を皆さんも見てくださいと進呈していただきました。本は図書室に置いて、何時でも見られるようにしております。

その後、第2回定例会では一般質問もされ、すっかり快復されたと安心しておりました。幾度か上京され検査を受けられていたようですが、お体の変化もなく、会派の行政視察へも元気に参加され、平成27年第1回定例会でも一般質問をされ、もう大丈夫だなと感じておりました。また、6月の第2回定例会においても一般質問を行い、市長のマスコミ対応や教育問題及び笹倉公園の有効利用による情操教育などについて質問され、市長から「市の情報発信は重要であり、積極的な発信に努める」、副市長から「笹倉公園の展示する小動物や園内の遊具など検討し、子どもたちに喜ばれる公園となるよう努める」との答弁をいただき、細谷議員が「今後ともよろしくお願い申し上げます。」と言って質問を終えました。

6月定例会終了後の大仙市議会市政懇談会では、担当する広報広聴常任委員会副委員長として積極的に参加され、班長としてご尽力されました。7月7日からの教育福祉常任委員会の行政視察で岐阜県美濃加茂市、高山市へ訪問した時には、大分お疲れの様子で、懇談会を中座され、部屋で休んでおられる様子も伺え、ご無理をしなければいいなと心配したところでした。

8月10日には、議会の政治倫理審査会の委員として、共に出席した時には、辛い体に鞭を打って出席されたのではと、言葉に出されませんでした。心の中で不安を抱いたところでした。

その2週間後に細谷副委員長のご逝去の報を受けた時、万感、胸に迫る思いの中、委員会の審議でのお姿、そして、この懇談会での一言一言を思い起こしたところでありま

す。

思えば、お体の不調と痛み、そして、不安とご家族のことなどへの思いが心中を去来し、心身とも限界の中であって細谷副委員長が、残された命の最後の力を議会議員の職に駆り立てたものは何であったかと考えます。それは、厳しい選挙戦を通して自分を支えてくれた市民の負託の重さであり、また、信頼への責務であると思います。

今、本会議場の壇上から副委員長の遺影を見つめ、議員として己の命に代え難いものは何かを見据える思いであります。

細谷副委員長が平和運動を展開してきた中、今、国会では安全保障関連法案の審議が行われ、平和で戦争のない世の中をと、かつての同志による反対運動の輪が広がっているようであります。

そのような中、地方自治を取り巻く情勢も混沌とし、大仙市にとっても住民福祉の向

上、地域経済の活性化、農業振興の推進など喫緊の重要課題が山積しております。

細谷副委員長は、この2年間、大仙市議会議員として真摯に議会活動に取り組み、その姿勢は、謹厳実直で尊敬に値するものでありました。副委員長を失った損失は計り知れないものがあります。

故郷の大地が緑色から黄金色に輝く秋の訪れとともに、豊かな稔りを与えてくれるように、議員一人ひとりが議員の職に命を燃やし尽くした副委員長を誇りとし、強い信条を引き継ぎ、大仙市のさらなる発展と大仙市議会の活性化に努めることをお誓い申し上げます。

最後になりますが、病気の回復を信じ懸命な看病にあたられ、本日、傍聴席にご臨席のご家族には、慰めの言葉もございません。

どうか、残されましたご家族と大仙市の前途に、ご加護を賜りますことをお願い申し上げます。

ここに、故大仙市議会議員細谷洋造教育福祉常任委員会副委員長の在りし日の面影を偲び、ご生前のご功績をたたえ、安らかなご冥福をお祈り申し上げまして、追悼の言葉といたします。

平成27年8月27日

大仙市議会教育福祉常任委員会

委員長 小山 緑 郎

【10番 小山緑郎議員 降壇】

○議長（橋村 誠） これをもちまして、故細谷洋造議員に対する追悼演説を終わります。

市長から招集の挨拶があります。栗林市長。

【栗林市長 登壇】

○市長（栗林次美） 改めまして、細谷洋造議員の御霊に謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

本日、平成27年第3回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集をいただきまして、誠にありがとうございます。

今次定例会においてご審議をお願いいたします案件は、条例案6件、単行案2件及び補正予算案2件並びに決算認定21件の合計31件であります。

各案件につきまして、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。招集の挨拶といたします。

なお、代表監査委員は、本日、病気療養中のため欠席させていただいておりますので、ご報告申し上げます。

【栗林市長 降壇】

○議長（橋村 誠） 故細谷洋造議員の遺影が退場いたします。

【遺影と遺族が退場する】

○議長（橋村 誠） この場にて、暫時休憩いたします。

午前10時15分 休 憩

.....
午前10時23分 再 開

○議長（橋村 誠） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

午前10時23分 開 議

○議長（橋村 誠） これより本日の会議を開きます。

欠席の届出は、5番後藤健君であります。

○議長（橋村 誠） 本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

○議長（橋村 誠） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において26番鎌田正君、27番橋本五郎君、2番秩父博樹君を指名いたします。

○議長（橋村 誠） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から9月17日までの22日間といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、会期は22日間と決定いたしました。

○議長（橋村 誠） 次に、日程第3、この際、諸般の報告をいたします。

平成26年度大仙市継続費報告書、平成26年度決算における健全化判断比率及び資

金不足比率及び請願に係る処理の経過及び結果報告書が市長から、教育に関する事務の点検・評価報告書が教育委員会から、例月現金出納検査結果が市監査委員から提出されております。

また、6月定例会初日から昨日までの議会動静報告書を、合わせて別添お手元に配付のとおり報告いたします。

○議長（橋村 誠） 次に、日程第4、市長から市政報告の申し出がありますので、これを許します。栗林市長。

【栗林市長 登壇】

○市長（栗林次美） 平成27年第3回大仙市議会定例会にあたり、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況について報告申し上げます。

はじめに、8月22日に開催された第89回全国花火競技大会「大曲の花火」と関連事業等について報告いたします。

今年の大会テーマは、「行雲流水 こううんりゅうすい 日々新 ひびあらた その先へ」とし、国土交通省をはじめ秋田県警、広域消防、消防団など関係機関のご協力のもと、盛大に開催されました。

大会当日は、前日の午後から降り続いた雨の影響により、河川敷の駐車場については、当日午前6時から新たな駐車をお断りする対応をいたしました。その後も断続的に降雨がありましたが、午後6時頃から天候が回復し、夜花火の部については、好条件のもとで花火が打ち上げられたところであります。

天候がはっきりしない中、たくさんの方々が来場されましたが、会場及び会場周辺では大きな混乱や事故もなく、無事に大会を終えることができ、節目となる来年の第90回大会につなげる成果を得たと評価しております。

なお、大会当日は、雨の影響もあり、主催者の発表で、昨年より1万人少ない71万人の人出となっております。

今大会で5回目となる「大曲の花火への被災者招待事業」については、花火鑑賞士会の協力もいただき、岩手県宮古市・大槌町、宮城県気仙沼市・南三陸町の被災者と、本市を含め県南地域に避難されている方々を合わせて219人を花火大会の栈敷席に招待いたしました。

また、友好交流都市である韓国唐津市たんじんのキム・ホンジャン市長、イ・ジェグアン市議会議長をはじめ7名の皆様を8月20日から24日までの日程で本市に招待し、「大曲

の花火」を鑑賞していただきましたが、「言葉に表せないほどのすばらしい花火に感動した」との高い評価をいただいております。

なお、ＪＲ東日本秋田支社の協力をいただき、大曲駅西口の正面玄関前に花火玉モニュメントを設置し、８月８日に除幕式を行っておりますが、このモニュメントは昨年の「大曲の花火ウィーク」でお披露目されたもので、本年３月に大曲地域の^{ふくだかつひろ}福田勝洋氏から市に寄贈されたものであります。今後、本市を訪れる方々に「花火の街」をアピールできるものと期待しております。

花火産業構想の推進については、６月１８日、煙火学の専修課程を設置している足利工業大学と大曲の花火協同組合及び市の三者において、花火の共同研究と人材育成に関する連携協定を締結しております。本年度は「花火の色」に関する研究開発と花火師の育成に向けた講座を実施することとしております。

なお、「大曲の花火」を中心とした本市の花火文化の継承・発信の拠点として、既存の生涯学習施設の改築と組み合わせた（仮称）花火伝統文化継承資料館等の整備については、４月２７日の議員説明会での計画概要に基づき、今次定例会に基本設計業務委託等にかかわる予算の補正をお願いしております。

また、２０１７年国際花火シンポジウム第１６回大会の開催地については、市と商工会議所が一体となり、本市への誘致活動を進めており、来月にフランス共和国ボルドーで開催される第１５回大会に、私と関係職員、大曲商工会議所会頭、市内花火業者が出席し、「大曲の花火」のＰＲを通して本市への２０１７年大会誘致に努めてまいります。

次に、大曲通町地区第一種市街地再開発事業の進捗状況についてであります。

本事業については、平成２１年度に「大仙市再開発基本構想」を策定し、仙北組合総合病院の移転改築を核として中心市街地の新たな顔を形成するべく、事業を進めてきたものであります。

平成２６年の北街区の竣工を受け、南街区の整備を進めておりましたが、工事が順調に進捗し、いよいよ９月末に完成の運びとなります。事業着手以来、東日本大震災や平成２２年から４年連続となった豪雪による施工環境への影響等にもかかわらず、構想策定から約６年という短期間で、また、市制施行から１０周年という節目の年に計画どおり完成を迎えることができることとなりました。

今後の事業スケジュールについては、南街区竣工後、各建物取得者への引き渡しを行い、１０月１３日に竣工式及び事業完成記念式典を執り行うこととしており、本年度末

までには大曲通町地区市街地再開発組合を解散し、平成28年9月をめどに清算事務を終える予定であります。

なお、健康福祉棟に健康増進センターが移転することから、今次定例会に位置の変更に係る設置条例の一部改正のほか、同棟をはじめ市が取得する児童福祉棟、駐車場棟の3棟の運営に必要な経費について、予算の補正をお願いしております。

次に、雪対策事業についてであります。

「雪に負けない市民協働のまち・大仙」を基本理念とし、昨年9月に策定した「大仙市雪対策総合計画」に基づき、本年度から雪に特化した部署として総務部に「雪対策推進室」を設置し、これまでの事業の検証や既存事業の整備・拡充、さらには新規事業について検討してきました。この結果、「高齢者等雪対策総合支援事業」と「地域提案型自治会等雪対策モデル事業」を新たに実施することとしております。

高齢者等雪対策総合支援事業については、昨年度まで高齢者や障がい者等の冬期弱者に対し実施していた「高齢者等除雪サービス事業」、いわゆる間口除雪事業を発展的に見直し、間口から通路玄関前、さらには屋根の雪下ろしまでを含め、住宅にかかわる全ての除雪作業に対応可能な制度として創設いたします。この制度は、市が助成する限度額の範囲内で、高齢者等が最も必要とする除雪サービスを選択することができるため、様々な市民ニーズに対応することが可能となります。

また、地域提案型自治会等雪対策モデル事業については、雪対策総合計画が目指す共助体制の確立を推進するため、高齢者等世帯の除雪や道路除雪に取り組む自治会や任意組織に対し、自由度の高い一括交付金を交付することにより活動を支援する事業であります。本年度と来年度の2カ年については、地域の独自性や自主性を重視した提案を実験的に取り組むモデル事業として実施し、3年目から本格実施を目指してまいりたいと考えております。

このほか、除雪対策費や消雪施設の設置補助については継続して実施し、雪対策総合計画の目標が達成できるよう、今次定例会にこれら事業に要する予算の補正をお願いしております。

次に、7月25日に発生した水害の被害状況と復旧対策について報告いたします。

この大雨による被害については、8月17日現在、市全体で住家半壊が1棟、住家の床上浸水が1棟、床下浸水が14棟、非住家の床上・床下浸水が25棟、道路冠水・法面崩壊等が66カ所となっているほか、農業被害については、施設の被害額が96万8

千円、農作物の被害額が47万3千円となっております。

また、和賀岳・薬師連山の薬師登山口に通じる市道真木線と林道は、数箇所ですり落ちや法面の崩落等により通行止めとしているほか、徒歩でも非常に危険な状態となっていることから登山の自粛を呼びかけており、現地に案内看板を設置したほか、市ホームページ等で周知を図り、安全の確保に努めております。

なお、災害に対する復旧については、被災した道路32路線、河川8カ所、農地及び農業施設126カ所、林道19路線について、今次定例会に復旧にかかわる予算の補正をお願いしております。

それでは、各部局の主要事業の進捗状況について報告いたします。

はじめに、総務部関係についてであります。

職員採用試験については、一般行政事務、保健師及び上級土木の技術系職員、一定の社会経験のある職務等経験者、合わせて20名程度の採用予定に対し102名の受験申し込みがあり、一次試験を7月26日、二次試験を8月14日から18日まで実施し、本日正午、合格者の発表を予定しております。

大曲仙北広域市町村圏組合消防職員の採用試験については、上級・初級合わせて15名程度の採用予定に対し、上級消防には10名の受験申し込みがあり、一次試験を7月26日に、二次試験を8月24日と25日の2日間実施し、9月中旬に合格発表を予定しております。

また、初級消防及び初級救急救命には30名の受験申し込みがあり、9月20日に一次試験を実施する予定としております。また、同組合の事務職員の採用試験については、若干名の採用予定に対し33名の受験申し込みがあり、一次試験を9月6日に実施する予定としております。

次に、企画部関係についてであります。

コミュニティFM事業については、地域に密着した情報を中心に発信する放送局として、株式会社TMO大曲が運営会社となる「FMはなび」が、県内6番目の放送局として、8月8日に関係者が見守る中、開局したところであります。

開局日には特別番組として、市内の今を伝える8時間の生放送、また、8月16日には、「大仙市の夏 夏まつりスペシャル」と題し、各地域のイベント会場などからの中継、そして「大曲の花火」では、前日の夜から大会翌日の午前1時までの生放送を実施し、交通情報をはじめ、大会に関する話題やまちの賑わいなどを伝えたほか、「大曲の

花火」を昼花火競技から大会終了まで完全生中継を行っております。

市民からは、「地元ラジオ局が開局してうれしい」、「地域情報が満載で親近感がわく」などの多くの反応をいただいております。また、「大曲の花火」の完全生中継では、「花火の解説が分かりやすかった」、「観覧会場以外からの鑑賞でもラジオで会場の雰囲気を楽しめた」など、わかりやすい解説と臨場感あふれる放送で好評をいただくことができました。

また、自然災害などの発生時には365日、24時間放送の「FMはなび」から緊急情報を瞬時に市民に伝えるため、緊急信号で自動起動する緊急告知機能を持つ大仙市オリジナル防災ラジオの開発を進めており、来年度の製造、販売を予定しております。

非核平和都市宣言事業については、7月28日から30日まで、市内の中学生5名と高校生1名を非核平和レポーターとして広島市に派遣しており、その成果を10月1日に大曲中学校を会場に開催する「平和祈念フォーラム」で発表していただくこととしております。

また、本年度も「平和」をテーマにした標語コンクールを実施しており、8月3日から28日まで標語の募集を行っているほか、同期間、各支所、^{あ ん べ ー} A n b e e 大曲、大曲駅東西自由通路等において、非核平和ポスター展を開催しております。

なお、本年は、戦後70年の節目の年であることから、「FMはなび」や市広報を活用し、非核平和レポーターや平和祈念フォーラム等の活動を広く市民に紹介することで、改めて市民の皆様には平和の尊さを考えていただく機会にしたいと考えております。

定住自立圏構想については、本市は平成21年4月から仙北市及び美郷町との定住自立圏形成に向けて検討を進めてきたところではありますが、今般、両市町から圏域形成を見送るとの方針が示されたところでもあります。

市といたしましては、本構想が国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において重要な施策として位置付けられ、特別交付税による支援や国の各種交付金等の採択が受けられるなどの支援措置があることから、合併市の特例により、大曲地域を中心地域、その他の地域を近隣地域として、合併1市単独での定住自立圏を形成することとしたところでもあります。

今後、9月末までに「中心市宣言」を行い、「定住自立圏形成方針」及び「定住自立圏共生ビジョン」の策定などの手続きを進め、平成29年度から国の支援措置の適用を受けながら、各種施策を推進してまいりたいと考えております。

地域の活性化については、地域に新しい風を吹かせ、地域力の維持・強化を図る新たな取り組みとして、これまでの集落支援員の増員に加え、地域支援活動や移住・定住の促進と本市の魅力を発見し、地域情報の発信等を活動内容とする地域おこし協力隊員2名を導入することとし、8月17日から市や移住・交流推進機構のホームページ等により募集を行っております。

次に、市民部関係についてであります。

西仙北地域柏台の大仙市太陽光発電事業については、7月に発電所の包括的施設リース契約を締結し、12月の発電開始に向けて、現在、整地及び架台の設置工事を進めております。

環境学習の推進については、夏休み期間中に市内全21小学校の4年生616人が、ごみ・水・エネルギーをテーマに「子どもエコチャレンジ」に取り組んだほか、市内全11中学校の生徒と公募の参加者合わせて685家族が「環境家族宣言」を行い、地球環境に配慮した無理なくできるエコ活動に取り組んでおります。

また、親子環境学習事業として、7月31日には姫神公園での「昆虫博士になろう」に15組40人、8月5日には齊内川での「さかな博士になろう」に11組30人が参加しております。

ごみの減量化対策については、地元の廃棄物収集業者と市職員が講師を務める特別学習を本年度も実施しており、7小学校の4年生89人が参加し、ごみの減量化や再資源化、ごみ出しマナーについて学んでおります。これまでの3年間で市内の21小学校を一巡しましたが、好評を得ていることから今後も継続して実施してまいりたいと考えております。

市内7カ所の一般廃棄物最終処分場の廃止事業については、7月27日に議員各位に事業概要を説明いたしましたが、今次定例会に閉鎖整備計画策定にかかわる予算の補正をお願いしております。

廃棄物処理の広域化を視野に入れた検討については、大仙市、仙北市、美郷町、大曲仙北広域市町村圏組合及び大仙美郷環境事業組合の担当者による検討委員会を開催し、施設の現状把握と課題等を整理して結果をまとめているところであります。

防犯及び交通安全対策については、これまで開催してきた安全安心まちづくり大会と交通安全推進集会を統合し、「大仙市安全安心推進集会」として10月22日、太田地域を会場に開催することとしております。集会は防犯、防災、青少年健全育成、交通安

全の各関係団体のご協力をいただき、参加者によるパレードのほか、表彰や講演会の開催を予定しております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

大仙市戦没者追悼式については、7月17日に大曲市民会館において戦没者の遺族をはじめ226名の参列のもと開催いたしました。終戦から70年が経過し、戦争の悲惨さを知る方々が年々減少する状況ではありますが、戦争の記憶を風化させないよう、この追悼式や10月1日に予定している平和祈念フォーラムなどを通じて、平和の大切さを訴えてまいりたいと考えております。

敬老会については、9月1日の大曲地域大川西根地区、神岡地域及び南外地域を皮切りに、9月18日まで14会場で15回開催することとしております。

昨年度に引き続き給付されることになった臨時福祉給付金については、8月25日から申請の受付を開始しております。受付期間中は、本庁では9月11日まで、支所では8月30日まで、平日の受付時間の延長と土・日の休日受付や特設窓口を設けるなどの対応に努めております。

なお、支給決定者には10月以降、順次支給する予定としております。

子育て世帯臨時特例給付金については、6月22日から児童手当の現況届けと同時に申請の受付を開始しており、8月20日現在、5,361件の申請があり、10月下旬の支給に向けて審査及びデータ入力作業を進めております。

なお、両給付金とも、引き続き市広報や「FMはなび」等を活用し、申請を促すべく周知に努めてまいります。

認知症への取り組みについては、認知症の早期発見と市民の認知症に対する関心を高めるため、6月1日から「認知症簡易チェックシステム」を運用しております。このシステムは、本人や家族がパソコンや携帯電話等からインターネットを通じ、簡易的にもの忘れ度をチェックするもので、6月1日から7月31日までの2カ月間で6,382件の利用があったところであります。チェック後の相談により、医療や介護に結びつけることができたケースもあり、今後も多くの市民に活用されることを期待しております。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作については、田植え作業以降の天候にも恵まれ、出穂期は平年並の8月2日頃となっており、茎数は平年を1割ほど上回っており、概ね良好に生育しております。

昨年度から継続している大豆栽培モデル対策事業については、7月22日に大豆生産

農家、農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センターなど関係機関とともに、大曲、西仙北及び太田地域の現地視察を行ったところでありますが、各実証圃場とも適切な管理により順調な生育となっております。

新たな農業振興計画の策定については、農業者代表のほか学識経験者、関係団体代表者の方々を委員に委嘱し、1回目の策定委員会を7月31日に開催したところであり、年度内の策定に向け作業を進めております。

J A秋田おぼこが整備を進めてきたトマトの園芸メガ団地整備事業については、7月末に工事が完了し、8月3日に中仙地域黒土地区内の現地において竣工式が行われております。なお、7月15日から順次、首都圏に向けてトマトが出荷されており、現在、収穫の最盛期を迎えております。畜産振興については「第9回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が7月24日に神岡地域の笹倉公園を会場に開催され、市内からは肉用牛99頭、乳用牛10頭、肥育牛18頭、家禽6番、家兎14羽が出品されております。このうち11点が優秀賞を受賞しており、上位入賞した肉用牛については、8月29日にあきた総合家畜市場で開催される「第95回秋田県畜産共進会」に出品される予定となっております。

国の交付金を活用した大仙市のニコニコ商品券事業については、発行総額が12億円と、これまでにない規模の事業となりましたが、消費喚起と地域経済の活性化を図ることを目的に、7月11日から販売を開始し、7月29日の内小友地区での販売をもって終了となりました。各販売所とも短時間での完売となりましたが、この商品券事業については、市民の皆様から多くのご意見をいただいております。市といたしましても検証をしてまいりたいと思っております。

大仙市観光物産協会については、8月8日に事務所をペアーレ大仙の隣接地に移転し、同日、関係者によるオープニングセレモニーが行われております。同協会は、平成25年4月に花火通り商店街の花火庵を事務所として発足いたしましたが、この度、一般社団法人としての法人格を取得したのを契機として、インターネットショッピングやカタログ通信販売など、新たな事業を展開するため移転したものであります。今後、お土産品や特産品の販路拡大、新たな需要の創出と観光情報の発信に期待しております。

「秋田県大仙市ふるさと物産フェア」については、特産品の販売と観光PRの拡充等を図ることを目的として、本年も10月16日・17日の2日間の日程で、東京J R有楽町駅前広場を会場に開催いたします。市観光物産協会が主体となり、市の支援と商工

団体や首都圏ふるさと会などのご協力をいただきながら、大仙市の観光及び物産のPRを官民一体となり実施することとしております。

「光と音と食のエンターテイメント『大曲の花火ウィーク』」については、8月16日から「大曲の花火」までの期間中、3日間開催され、本年も多彩なイベントが実施されております。特に、初日の16日には、花火通り商店街を主会場に「夏まつり大曲2015」が開催され、子どもから大人まで楽しめるイベントが実施されたほか、地域における男女の出会いの場づくりとして、「ドンと恋 花火浪漫」が昨年に引き続きドリンクテーリング方式で開催され、市内外から98人が参加し、賑わいの中で交流を深めたところであります。

また、各地域の夏まつり行事については、7月4日には「協和七夕花火」、7月25日には「ふるさとなんがい夏まつり」、8月1日には「太田の夏まつり」、8月15日には「彩夏せんぼく」、「ふるさと西仙まつり」、8月16日には市指定無形民俗文化財の「角間川盆踊り」、「ドンパン祭り」、昨年に引き続き2回目となる「南外盆踊り」などが地域色豊かに開催されており、9月14日には「神岡南外花火大会」の開催が予定されております。

雇用対策については、高校生の採用枠の拡大と早期の求人票提出を要請するため、6月17日に、ハローワーク大曲、仙北地域振興局、仙北市、美郷町及び大仙市で構成される仙北地域雇用促進連絡会議において、管内の高等学校長とともに市内経済団体に対し要請活動を行っております。7月31日には、来春就職する高校生等の就職に対する理解を深め、早期離職者の減少と地元定着を図るため「仙北地域新規高卒者企業説明会」を開催しており、46事業所からご協力をいただき、高校生90人が参加しております。

また、県南3つの雇用開発協会の共催により7月22日から8月4日までの14日間、県南地区職場研修事業が実施され、大曲仙北管内においては、市内の48事業所にご協力をいただき、延べ159人が参加しております。

なお、平成28年3月新規高卒者への7月末日現在の求人状況は、ハローワーク大曲管内で求人事業所数134社、求人数370人と、前年度と比べ求人数が4.8%増加しております。

次に、建設部関係についてであります。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業については、現在、大花地区の区画道路新設工事

と街区整地工事を施工中であり、10月末に完了する予定であります。また、市街地再開発事業に関連した南街区に隣接する通町線消雪施設新設工事は、11月上旬に完了の予定であります。今後は、まるこ川通線新設工事、街区公園3カ所の整備工事を発注する予定であり、年度内に全てのハード事業が完了する予定であります。

道路整備事業については、交付金を活用した通学路歩道整備事業として、太田地域の久保くぼ関せき古ふる館だて線の歩道整備工事を発注しております。

また、幹線道路の路肩改修事業として神岡地域の坊ヶ沢戸月線、線形改良事業として仙北地域の仙北21号線の測量設計業務を実施しております。

市単独事業である各地域58カ所の道路維持工事及び道路改良工事については、20カ所が完了し、26カ所が発注済みで、残る12カ所の工事についても早期発注に努めてまいります。

道路情報管理システム整備については、統合型GIS基本計画及び道路台帳統合基本計画に基づき、市全域の道路台帳を統合及び電子化するための業務に着手するなど、来年度のシステム運用に向けた作業を進めております。

橋梁の長寿命化対策については、交付金を活用した橋梁長寿命化修繕事業として、中仙地域の「坂の上橋」の橋梁補修工事及び仙北地域の「川福橋」の橋梁補修設計業務を発注しております。

天神前市営住宅建替事業については、2カ年事業の1年目ではありますが、一部解体工事が終了し、現在、構内道路などを整備する外構工事を発注済みであります。今後は、全5棟14戸のうち、本年度は3棟8戸の建築工事を10月に発注する予定であります。

住宅リフォーム支援事業については、8月20日現在で補助金額が昨年度同期の実績より若干減少しているものの、申込み件数は上回っており、市民の関心は依然として高いものとなっております。このうち克雪対策事業については52件、補助金額763万円で、昨年度同期より減少となっておりますが、今後、冬季に向け申請件数が増加するものと思っております。

次に、国・県関係事業についてであります。

市では、河川や道路に関する情報を共有し、互いに協力して整備を推進するため、6月12日には国土交通省湯沢河川国道事務所、6月22日には仙北地域振興局との事業調整会議を実施し、これらの会議を通じ、調整課題についての要望や協議を行い、国・県から事業に取り組んでいただくこととしております。

国が実施する雄物川中流部の河川改修事業については、国土交通省湯沢河川国道事務所において、本市分として21億9,800万円の予算を確保していただき、協和地域の中村^{あしざわ}芦沢地区、西仙北地域の強首及び寺館大巻地区及び南外地域の西板戸地区において、樋門新設及び築堤等の改修工事を実施していただいております。

なお、県南の6市町村長と議会議長で構成し、私が会長を務める雄物川上中流改修整備促進期成同盟会では、雄物川上中流部の改修整備について一層の促進を求め、6月25日・26日に国土交通省や財務省に対し要望活動を行ってまいりました。

なお、7月25日に発生した水害による県管理河川の災害復旧については、中仙地域の斉内川堤防決壊箇所を含む5カ所、小滝川2カ所、協和地域の淀川1カ所、西仙北地域の心像川2カ所、仙北地域の川口川1カ所の合計11カ所について、被害額11億3,500万円を国に報告しており、10月に災害査定を受けて復旧事業を実施する予定と伺っております。

次に、上下水道部関係についてであります。

上水道事業については、大曲地域若竹町地内ほか3件の配水管改良工事は、8月上旬までに完了しております。また、大曲金谷町地内の配水管改良工事、内小友地内の配水管布設工事は発注を終えており、それぞれ10月下旬と11月下旬の完了を予定しております。

消火栓設置工事については、福田町地内ほか1件の工事を6月下旬に完了しております。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事については、既に発注を終えており、10月下旬の完了を予定しております。

簡易水道事業及び下水道事業については、企業会計に移行するための地方公営企業法適用業務について、それぞれ公募型プロポーザル方式による受注業者選定を行い、両事業とも7月24日に委託契約を締結しております。なお、企業会計への移行は、簡易水道事業が平成29年度、下水道事業については平成30年度を、それぞれ予定しております。

下水道事業の管渠整備工事については、大曲、神岡、南外地域において7件を発注しております。また、協和浄化センターの長寿命化対策については、8月に発注しております。

次に、教育委員会関係についてであります。

議会の同意をいただき、7月1日付けで吉川正一新教育長が就任しております。新教育長のもと、地方教育行政制度の改革により新教育委員会制度で定められている、首長と教育委員会により構成する「総合教育会議」を設置するとともに、大仙市の教育及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に取り組んでいるところであります。

給食センターについては、大仙市学校給食総合センターが秋田県食品自主的衛生管理認証、いわゆる秋田県HACCP^{ハ サ ッ プ}を昨年10月21日に県内の学校給食施設として初めて取得いたしました。この度、中仙学校給食センターも8月7日付けで取得をしております。

防災教育については、8月29日に西仙北中学校を会場に、隣接する「西部わくわくランチ」が備える防災機能を生かし、地域と連携した避難所開設訓練を実施することで準備を進めております。

学習環境の整備については、児童生徒の科学への関心を高めるための「コロンブスの卵わくわくサイエンス事業」が実施から5年目となり、教員の指導力向上研修会をこれまでに6回実施しているほか、8月6日と7日に「中学生首都圏大学・総合研究所派遣」として、市内の中学生18名を千葉大学医学部と理化学研究所に派遣しております。

また、子どもたちの夢を育む「こころのプロジェクト『夢の教室』事業」では、5月のスポーツバージョンに続き、7月には県内在住の画家である小山内愛美さん^{おさないめぐみ}を講師に迎え、市内4小学校の主に5年生を対象に図工バージョンが行われております。

また、平成19年度から実施している「中学生サミット」については、8月19日に大曲中学校を会場に、小学生も参加して、子どもたちによる「大仙未来プロジェクト」として開催し、自分たちでできる地域づくりの取り組みやソーシャル・ネットワーキング・サービスの利用に係るルールづくり、いじめ撲滅宣言等について話し合いが行われております。

4月に実施された全国学力・学習状況調査については、8月25日に結果が発表されましたが、本市の児童生徒の状況は、小・中学校ともに、教科の調査結果及び生活習慣や学習環境に関する質問への調査結果において、本年度も概ね良好な状況にあります。これは、本市の児童生徒が望ましい生活環境の中で学習に取り組んでいる結果であるとともに、学校、家庭、地域社会が相互に連携して児童生徒の成長を支えている成果であると分析しております。

生涯学習の推進については、昨年開催した第29回国民文化祭の継承事業として好評

を得た「木村伊兵衛特別写真展—大曲からの発信—」の回顧展を7月1日から12日までAnbee大曲で開催し、1,293人の皆様から鑑賞いただいております。

また、第10回大仙市民交流将棋大会については、7月19日に市内外から63人の参加を得て開催しております。前日の18日は、前日祭として神岡小学校放課後児童クラブの24人を対象としたプロ棋士による「どうぶつ将棋」講習会が開催され、次世代の育成に向けた指導をいただいております。7月20日には、市内外から81人の参加を得て、第11回大仙市民交流囲碁大会を開催しております。

成人式については、8月15日に大曲市民会館において行われ、新成人682人の出席のもと、門出を祝福しております。式典終了後の記念アトラクションでは、FM秋田パーソナリティ高橋航^{わたる}さんをコーディネーターに、新成人の代表の皆さんから「はたちの夢について」の抱負を語っていただくなど、心温まる成人式となったところであります。

文化財保護については、8月21日から3日間「大曲の花火」にあわせて旧池田氏庭園の一般公開を行い、市内外の多くの方々から夏の庭園を鑑賞いただいております。なお、庭園の園路については、車椅子のタイヤが沈みにくいバリアフリー対策により、環境整備が図られております。

小・中学校の部活動等については、全県中学校総合体育大会で優勝した太田中学校バレーボール部、大曲中学校バドミントン部女子団体をはじめ個人、団体の30種目が東北大会への出場を果たし、このうち大曲中学校柔道部が男子団体で準優勝の栄冠に輝いております。また、同校3年生の中原樹人^{なかはら みきと}さんが、水泳男子背泳ぎ100m・200mでそれぞれ1位となり、全国大会では200m6位入賞を果たしております。

音楽関係では、大曲中学校吹奏楽部、大曲南中学校吹奏楽部、大曲中学校合唱部、協和小学校バンド部、太田南小学校・太田東小学校バンド部が、それぞれ東北大会出場権を得ております。

また、科学の甲子園ジュニア県大会では、大曲中学校チームが優秀賞を獲得し、12月の全国大会に出場することとなっております。

スポーツ少年団では、8月までに剣道、空手、卓球、バドミントン、ソフトテニスの各種目に14団体84名の小・中学生が全国大会に出場しております。

第11回大仙市長旗争奪サッカースポーツ少年団大会については、7月11日・12日の両日に開催され、本市の5チームと岩手県から6チームを含む県内外から48チー

ム、約800人が参加して熱戦が繰り広げられました。

さらに、同両日において、第57回大仙仙北スポーツ少年団選抜野球大会が16チームの参加により開催され、神岡野球スポーツ少年団が秋田県大会への出場を果たしております。

スポーツ振興については、第24回となる全県550歳野球大会が選抜24チームの参加のもと、7月26日から3日間の日程で南外で開催され、地元の神岡大浦クラブが準優勝を果たしております。また、本年で第37回目となる恒例の全県500歳野球大会は、これまでの最多となる184チームの参加により、9月19日から5日間の日程で開催することで準備を進めております。

大学等のスポーツ合宿誘致については、7月29日から首都圏を中心に、野球で8大学、3高校が市内の施設を利用して夏季合宿を行っております。このうち9団体が合宿期間中に、県内及び近県の大学や市内高校との交流戦を行い、多くの市民からも観戦をいただいております。また、小・中学生への野球教室を実施していただいた団体もあり、地域スポーツ振興の向上にもつながっていると考えております。

大曲武道館については、耐震補強工事及び屋根等の経年劣化に伴う関連工事費が多額になることから、新築改築工事費と比較検討した結果、改築することで今次定例会に基本設計業務委託に係る予算の補正をお願いしております。

最後に、財政状況について報告いたします。

平成26年度の決算については、実質収支は普通会計ベースで10億8,234万円の黒字となっております。また、財政調整基金からの取り崩しを行わず、3億43万円の積み立てを実施したことから、実質単年度収支も5億3,689万円の黒字となり、6年連続の黒字決算となっております。

なお、企業会計となる「市立大曲病院事業会計」及び「上水道事業会計」の決算については、収益的収支において両会計とも黒字となっております。

次に、財政指標については、財政構造の弾力性を示す経常収支比率については88.9%となり、前年度と比較して0.9ポイント上昇しております。これは、歳入において、地方譲与税や地方交付税等の減少による経常一般財源が減額になったこと、また、歳出において、市債発行額の抑制による公債費の減少があったものの、公共施設の電気料の上昇や介護保険事業負担金の増による物件費及び繰出金の増加などにより、経常経費の増加が主な要因となったものであります。今後も普通交付税の減額により、比率算

定の分母が年々減少し、比率上昇が予想されることから、一層の経費削減に努めなければならぬと考えております。

財政健全化法に基づき公表が義務付けられている健全化判断比率のうち、実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、平成26年度において全ての会計が黒字またはゼロ決算であるため、該当はしていません。

実質公債費比率については、過去3カ年の平均値で算出しており、16.2%と前年度から1.4ポイント改善されております。

将来負担比率については、146.9%と前年度から3.4ポイント改善されております。これは、職員数の減少や財政調整基金の増加などによるものでありますが、依然として高い水準で推移していることから、引き続き職員数の適正管理や市債発行額の抑制に努めるなど、将来負担の軽減を図るため、一層の改善に取り組んでまいります。

公営企業会計に係る資金不足比率については、資金不足を生じた公営企業がないため、該当はしていません。

市の財政運営については、市税等の自主財源の割合が低く、地方交付税に依存している状態であり、普通交付税については、合併特例期間が終了したことなどにより、昨年度と比較し、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債を合わせた減額幅が約7億2,000万円となっております。このことから、今後も国の動向を十分に踏まえた上で、自主財源の確保や事業の取捨選択、経常経費の縮減等を進めながら持続可能な財政の構築と次の10年に向けた取り組みを推進し、市民サービスの向上を図ってまいりたいと考えております。

以上、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況を報告申し上げますが、今後とも市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます、市政の報告とさせていただきます。

【栗林市長 降壇】

○議長（橋村 誠） この際、議事の都合により暫時休憩いたします。

休憩中に教育福祉常任委員会協議会を開催いただき、副委員長等の選出をお願いいたします。

再開時刻は、後ほどお知らせいたします。

午前11時24分 休 憩

.....
午前 11 時 36 分 再 開

○議長（橋村 誠） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（橋村 誠） 次に、日程第 5、教育福祉常任委員会副委員長の選任については、議長において指名したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

教育福祉常任委員会副委員長に 7 番石塚柏君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました石塚柏君を、教育福祉常任委員会副委員長に選任することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました石塚柏君を教育福祉常任委員会副委員長に選任することに決しました。

○議長（橋村 誠） 次に、日程第 6、広報広聴常任委員会委員の補充選任を議題といたします。

現在、広報広聴常任委員会委員が 1 名欠員であります。

お諮りいたします。欠員となっている広報広聴常任委員会委員の選任については、委員会条例第 8 条第 1 項の規定により、議長において 12 番佐藤芳雄君を指名したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名しました佐藤芳雄君を広報広聴常任委員会委員に選任することに決しました。

○議長（橋村 誠） この際、議事の都合により暫時休憩いたします。

休憩中に広報広聴常任委員会協議会を開催いただき、副委員長の選出をお願いいたします。

再開時刻は、後ほどお知らせいたします。

午前 11 時 38 分 休 憩

午前 11 時 45 分 再 開

○議長（橋村 誠） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

○議長（橋村 誠） 次に、日程第 7、広報広聴常任委員会副委員長の選任については、議長において指名いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、議長において指名することに決しました。

広報広聴常任委員会副委員長に 2 番秩父博樹君を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました秩父博樹君を広報広聴常任委員会副委員長に選任することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（橋村 誠） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました秩父博樹君を広報広聴常任委員会副委員長に選任することに決しました。

○議長（橋村 誠） この際、昼食のため暫時休憩をいたします。

再開は、午後 1 時といたします。

午前 11 時 46 分 休 憩

午後 1 時 00 分 再 開

○副議長（富岡喜芳） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

橋村議長が秋田県市議会議長会と秋田県町村議長会との合同実行運動のために東京に出張いたしておりますので、代わって私から議事を進行させていただきます。

初めてでございますので、ひとつよろしく願いいたします。

○副議長（富岡喜芳） 次に、日程第 8、議案第 90 号から日程第 17、議案第 99 号までの 10 件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。佐藤総務部長。

【佐藤総務部長 登壇】

○総務部長（佐藤芳彦） それでは、ご説明させていただきます。

お手元の議案書、資料No. 1になります。1ページから5ページまでをお願いいたします。

議案第90号、大仙市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明いたします。

国におきましては、平成25年5月に社会保障、税、災害対策等の分野におきまして個人番号、いわゆるマイナンバーを活用することにより、国民の利便性の向上と行政運営の効率化を図ることを目的として、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法が公布されております。

法律の施行に伴い、マイナンバーを活用した社会保障・税番号制度が導入されますが、本年10月5日にはマイナンバーの指定及び通知が始まります。

また、平成28年1月には、個人番号カードの交付が開始されるとともに、社会保障・税関連の事務におきましてマイナンバーの利用が開始されます。

これに伴いまして、マイナンバーを含む個人情報が、一般の個人情報と別に「特定個人情報」という名称で取り扱われます。本案は、この特定個人情報が一般の個人情報以上に厳格な保護措置が必要となることに鑑み、本市個人情報保護条例におきまして特定個人情報の利用、供用の制限等に関する規定を整備するほか、所要の規定の整理を行うもので、マイナンバー法の趣旨及び要請に基づきまして、これらを条例で定めるものであります。

施行は、一部を除き、マイナンバー法の施行日であります平成27年10月5日から施行するものであります。

次に、6ページから8ページまでをお願いいたします。

議案第91号、大仙市手教材条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

本案も、マイナンバー法に関連するものであります。

先程ご説明申し上げましたとおり、10月5日以降、マイナンバーが記載された通知カードが地方公共団体情報システム機構から順次発送され、個人にマイナンバーが通知されます。

また、平成28年1月には、個人番号カードの交付が始まります。

本案は、この通知カード及び個人番号カードの交付手数料につきまして、初回の交付は無料ですが、再発行につきましては、カード原紙やＩＣチップの原価等を考慮いたしまして、通知カードは５００円、個人番号カードは８００円を、それぞれ再交付手数料として徴収するものでございます。

また、現在交付しております住民基本台帳カードにつきましては、個人番号カードの交付の開始にあわせ、新たな交付または再交付を行わないことから、当該カードの手数料規定を削るものであります。

これらの改正は、法律の施行にあわせまして、通知カードにあつては平成２７年１０月５日、個人番号カードにあつては平成２８年１月１日から施行するものであります。

次に、９ページと１０ページをお願いいたします。

議案第９２号、大仙市運動広場設置条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

県におきましては、大曲西道路の高架下の有効活用といたしまして、大曲地域飯田地区の道路高架下に、軽易なスポーツができる広場を整備しております。

本案は、当該施設を市が無償で貸与を受け、運動広場として市民の利用に供することから、飯田運動広場として条例規定するもので、平成２７年１０月１日から施行するものであります。

次に、１１ページと１２ページをお願いいたします。

議案第９３号、大仙市保健センター設置条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

本案は、大曲通町地区市街地再開発事業におきまして南街区に建設中の健康福祉棟に大曲保健センターを移転するもので、平成２７年１１月１日から施行するものであります。

次に、１３ページから１５ページまでをお願いいたします。

議案第９４号、大仙市駐車場条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

本案も議案第９３号と同様に、南街区に整備しております駐車場を大曲ヒカリオ駐車場として条例規定するものであります。

駐車料金についてであります。

一般駐車は、１台１時間まで１００円ですが、最初の２時間は無料であります。

回数券は、100円券22枚綴りで2千円、月極駐車は、利用期間（1カ月～3カ月）に応じまして、1カ月当たり7,120円～6,480円までとなります。

また、駅東駐車場につきましても、最初の無料とする時間を、これまでの30分から、大曲ヒカリオ駐車場と同じく2時間とするもので、平成27年10月13日から施行するものでございます。

次に、16ページと17ページをお願いいたします。

議案第95号、大仙市立仙北就業改善センター条例を廃止する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

平成24年度に実施いたしました耐震調査・診断の結果、仙北支所庁舎隣の仙北就業改善センターにつきましては、震度6強以上の地震が発生した場合に倒壊または崩壊する危険性が高い建物であることが判明し、現在、施設の使用を休止しております。

本案は、この仙北就業改善センターにつきまして、今般、補助事業の処分制限期間、平成27年8月4日が処分制限期間でございます。この期間が経過したことに伴いまして、施設を解体し、廃止するもので、公布の日から施行するものであります。

次に、18ページと19ページをお願いいたします。

議案第96号、大仙市と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協議につきまして、ご説明申し上げます。

行政不服審査法の改正によりまして、行政処分にかかわる不服申立制度が全面的に見直され、市の実施機関が行う裁決につきまして、その内容を諮問する有識者で構成される第三者機関（行政不服審査会）の設置が本市においても必要となります。

しかしながら、市単独では処理件数が少ないことや審査会委員の人材を確保することが難しいことなどから、県におきましては、制度の施行にあわせまして、希望する市町村の審査会にかかわる事務を受託する意向が示されたところであります。こうしたことから、本案は秋田県と協議により規約を定め、審査会の事務を委託することにつきまして、地方自治法第252条の14第3項において準用する同法第252条の2の2第3項本文の規定によりまして、議会の議決をお願いするものであります。

20ページをお願いいたします。

次に、議案第97号、平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更につきまして、ご説明申し上げます。

本案は、同特別事業会計におきまして、一般会計から繰り入れる事業資金の額を変更

するものであります。

繰り入れする額を「5億2,542万3千円」から357万5,000円増額し、「5億2,899万8千円以内」に改めることにつきまして、地方財政法第6条の規定によりまして、議会の議決をお願いするものでございます。

次に、補正予算案の関係であります。

お手元にあります資料No.2「大仙市補正予算（9月補正）」をご覧願います。

1ページをお願いいたします。

議案第98号、平成27年度大仙市一般会計補正予算（第4号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、大仙市雪対策総合計画に基づく雪対策関連事業費、7月25日の豪雨による災害復旧費などにつきまして補正をお願いするものでございます。

歳入歳出の予算総額に、それぞれ15億6,765万6千円を追加し、補正後の予算総額を472億3,350万6千円とするものであります。

4ページをお願いいたします。

債務負担行為の補正でございます。廃止を予定しております市内7カ所の一般廃棄物最終処分場のうち、北檜岡・中仙及び大曲の3カ所の処分場の廃止に向けて、上水道工事から来年度発生する残土を処分場の覆土材として活用できることから、3つの処分場廃止に必要な基本計画を2カ年にわたり作成するため、一般廃棄物最終処分場閉鎖整備計画作成業務委託料につきまして債務負担行為の設定をお願いするものでございます。

9ページをお願いいたします。

歳入の関係であります。

10款地方交付税は、普通交付税及び特別交付税として10億4,385万7千円の補正、12款分担金負担金は、農地農業用施設災害復旧事業費分担金として52万5千円の補正、13款使用料及び手数料は、行政財産使用料、大曲ヒカリオ駐車場使用料として260万1千円の補正、14款国庫支出金でございます。9ページから10ページになりますが、道路橋りょう災害復旧費負担金、河川災害復旧費負担金及び社会資本整備総合交付金として1億4,148万7千円の補正であります。

15款県支出金は、個人番号カード交付事業費補助金、県道除雪費委託金などとして5,731万1千円の補正、17款寄附金は、民生費寄附金、教育費寄附金として645万4千円の補正、19款繰越金は、前年度繰越金として1億3,593万7千円

の補正であります。

20款諸収入は、建物損害共済金、高齢者等雪対策総合支援事業利用者負担金などとして3,577万9千円の補正、21款市債は、11ページから12ページになりますが、高齢者等雪対策事業債、臨時財政対策債などとして1億4,370万5千円の補正でございます。

次に、歳出の関係であります。

2款総務費は、4,426万円の補正であります。

主な内容といたしまして、仙北庁舎附帯施設整備事業費は、仙北就業改善センター跡地に仙北庁舎附帯機能と防災機能を併せ持った多目的施設建設にかかわる実施設計委託料などとして556万5千円の補正、地域提案型自治会等雪対策モデル事業費は、自らの提案により自主的に地域の高齢者等の除排雪作業などを実施する自治会等に対する交付金として455万円の補正、個人番号カード交付事業費負担金は、マイナンバー制度開始によります個人番号カード発行に関する業務を、地方公共団体情報システム機構に一括して委任するための負担金として3,028万8千円の補正であります。

14ページをお願いいたします。

3款民生費は、1億3,265万4千円の補正であります。

主な内容といたしまして、高齢者等雪対策総合支援事業費は、昨年度まで実施しておりました道路除雪後の高齢者世帯等の間口除雪に加えて、住宅までの通路や住宅周りの除雪、屋根の雪下ろしを助成する経費などとして1億686万4千円の補正、放課後児童クラブ管理運営費は、花館小学校区の児童クラブ利用者が増加傾向にあることから、はびねす大仙で実施しております第2いちょう児童クラブを、市街地再開発事業南街区の児童福祉棟に移転することで空き園舎となります大曲北幼稚園で実施するための改修経費として1,499万5千円の補正であります。

4款衛生費は、1,413万5千円の補正であります。

主な内容といたしまして、保健センター維持管理費は、市街地再開発事業南街区の健康福祉棟に移転となる保健センターの維持管理経費として909万1千円の補正、一般廃棄物最終処分場廃止事業費は、来年度以降、基本計画を策定して順次進める予定でありますものでありますが、今般、大曲上水道の宇津台浄水場更新工事で発生する建設残土約1万^mを有効活用することによりまして事業費の低減が可能であることから、北檜岡・中仙・大曲の各最終処分場にかかわる基本計画を、今年度に前倒しして策定する経

費として146万9千円の補正であります。

16ページをお願いいたします。

6款農林水産業費は、1,124万8千円の補正であります。

主な内容といたしまして、高度経営体面的集積促進費補助金は、ほ場整備実施区域におきまして農業法人等への農地集積が一定以上行われた場合に、集積向上率に応じて事業にかかわる地元負担分を助成するものであります。857万4千円の補正であります。

土地改良事業費等補助金は、農業用施設の改修を行う土地改良団体に対する補助金であります。103万2千円の補正であります。

8款土木費は、11億9,120万1千円の補正であります。

主な内容といたしまして、除雪対策費は、これまでの各年度におきましては、冬期間に補正予算の計上をお願いしております。こうしたことから、過去の除排雪回数、費用等を勘案して今冬の除排雪にかかわる経費といたしまして11億371万1千円の補正であります。

道路改良事業費は、大曲駅東の幸町におきまして民間による宅地開発行為が行われておりますが、大曲駅東第1地区計画区域内の幹線道路整備について定めました共同工事実施要綱に基づき、市と当該開発事業者が共同で幹線道路を整備する経費としまして4,211万2千円の補正であります。

18ページをお願いいたします。

9款消防費は、513万9千円の補正であります。

空き家・高齢者世帯等除排雪事業費は、冬期間における安全確保のため、空き家や高齢者世帯等の巡回調査、緊急時における除排雪作業にかかわる経費の補正であります。

10款教育費は、3,314万8千円の補正であります。

主な内容といたしまして、(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業費は、大仙市花火産業構想の施策実現に向け、既存生涯学習施設の改築と組み合わせた(仮称)花火伝統文化継承資料館整備にかかわる基本設計等の委託料としまして1,509万8千円の補正、小・中学生ウインタースポーツ推進事業費は、市内の小・中学生の冬期間における体力向上や地元スキー場の活性化などを目的に、市内3スキー場において無料でリフトを利用できる共通シーズン券の発行にかかわる経費としまして1,283万4千円の補正、その他体育施設改修事業費は、昭和54年に建設されました大曲武道館につきまして、耐震診断の結果、耐震改修が必要と判断されておりましたが、施設の構造的な

問題により耐震改修が困難なこと、また、屋根の摩耗が激しく全面葺き替えが必要なことなどから、現在地に建て替えを計画するものであります。これにかかわる基本設計委託料として398万6千円の補正であります。

20ページをお願いいたします。

11款災害復旧費は、7月25日の豪雨により被災した道路、農地・農業用施設、林道などの復旧にかかわる経費としまして1億3,587万1千円の補正であります。

主な内容としまして、道路橋りょう災害復旧事業費（単独分・補助分）は、単独分としては市道29路線の復旧費2,065万円、補助分としては市道3路線の復旧費5,520万円の補正であります。

農地等災害復旧事業費補助金は、農家等が負担する被災農地及び被災施設の復旧費用を軽減するための補助金として2,466万7千円の補正、林業施設災害復旧事業費（単独分・補助分）につきましては、単独分として林道19路線の復旧費795万6千円、補助分としては林道3路線の復旧費1,299万8千円の補正でございます。

なお、補助分につきましては、今後、国の査定を受ける予定でございます。

以上が一般会計でございます。

続いて特別会計になります。

25ページをお願いいたします。

議案第99号、平成27年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、協和南部地区簡易水道の更新及び県営ほ場整備事業の実施に伴う淀川地区簡易水道配水管の移設にかかわる経費につきまして補正をお願いするものであります。

歳入歳出の予算総額に、それぞれ566万円を追加し、補正後の予算総額を18億6,319万1千円とするものでございます。

30ページをお願いいたします。

歳入の関係です。

5款繰入金は、一般会計繰入金として357万5千円の補正、7款諸収入は、水道管移設工事費委託金として208万5千円の補正でございます。

次に、歳出の関係です。

2款事業費は、566万円の補正でございます。

内容としましては、協和南部地区簡易水道事業費は、協和南部地区簡易水道におきましては配水管等の漏水が頻繁に発生していることなどから、今般、更新計画の策定にかかわる委託料としまして357万5千円の補正であります。

配水管等布設事業費につきましては、淀川地区簡易水道給水区域内の協和下淀川地区で施工されております県営ほ場整備事業に伴い、支障となります配水管を廃止し、新たに国道341号線に布設するための実施設計委託料としまして208万5千円の補正でございます。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

以上であります。

【佐藤総務部長 降壇】

○副議長（富岡喜芳） 次に、日程第18、議案第100号から日程第36、議案第118号までの19件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。久米副市長。

【久米副市長 登壇】

○副市長（久米正雄） 議案第100号、平成26年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について並びに議案第101号から118号までの平成26年度大仙市特別会計歳入歳出決算の認定については、関連がありますので一括して説明いたします。

今回ご審議いただく平成26年度の一般会計・特別会計歳入歳出決算につきましては、地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定により、大仙市監査委員の審査をいただいております。その審査結果については提出されております審査意見書のとおりであります。

決算内容は、お手元にお配りしております資料No. 3「平成26年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算書」のとおりであります。

はじめに、一般会計の決算について説明いたします。

平成26年度一般会計の決算規模は、歳入総額496億7,842万9,097円、歳出総額485億4,847万3,191円、歳入歳出差引残額は11億2,995万5,906円であります。

また、翌年度への繰越財源を控除した実質収支額は、10億7,813万3,316

円の黒字であります。

なお、市街地再開発事業の本格化により、合併後最大の決算規模であった平成25年度に比べ、歳入では約35億円、歳出では約37億円の減額となっております。

次に、特別会計の平成26年度決算につきましては、国民健康保険事業特別会計から淀川財産区特別会計まで、18特別会計を合算した決算額が、歳入総額195億7,797万6,838円、歳出総額195億2,178万8,091円、歳入歳出差引残高は5,618万8,747円で、全会計で黒字決算となっております。

次に、普通会計ベースにおける決算概要について説明いたします。

お手元の資料No. 3-1、1ページのA3版の資料「平成26年度普通会計決算概要」をご覧願いたいと思います。

一般会計に土地区画整理事業・学校給食事業・奨学資金の3つの特別会計を含めた普通会計ベースにおける決算規模は、歳入総額514億6,147万円、歳出総額503億2,204万7千円、歳入歳出差引額は11億3,942万3千円で、前年度と比較し、歳入総額で31億7,032万7千円、歳出総額では33億9,798万8千円の減となっております。

なお、翌年度への繰越財源を控除した実質収支額は10億8,234万7千円で、18年度決算以来の10億円を超える黒字額であります。

次に、歳入歳出の主な状況についてご説明申し上げます。

2ページをお開き願います。

普通会計の歳入構造であります。依存財源については、消費税法改正に伴う地方消費税交付金の増や市単独の普通建設事業の財源として市債発行が増加したものの、地方譲与税交付金や地方交付税交付金、あるいは市街地再開発事業などの国県支出金の大幅減により、前年度比7.0%減、額にして約30億円の減額となっております。

一方、依存財源については、市税が前年度より約2,500万円増加したほか、国交付金を活用し時限条例により設置した地域の元気臨時交付金基金繰入金の増があったものの、中小企業貸付制度預託金の縮減に伴う貸付金元金収入の減少等により、前年度比1.6%減、額にして約1億9,000万円の減となっております。

また、市街地再開発関連事業などの国・県支出金が大幅に減額したことにより、決算規模が縮小したことから、自主財源比率が23.0%と前年度より0.9ポイント上昇しております。

次に、歳出の状況であります。人件費は職員数の減などにより、前年度より5,670万8千円減の70億4,068万8千円、公債費は市債発行額の抑制による償還額の減や借り換えによる利子の軽減により4億8,547万2千円減の60億9,255万8千円となった一方、扶助費は3億3,772万4千円増の62億2,223万8千円となっております。これは低所得世帯や児童手当受給世帯に対する国の臨時給付事業の実施に伴い、一時的に増加したものであり、これを除いた扶助費については前年度とほぼ同水準であります。このようなことから、義務的経費総額は前年度より2億445万6千円減の193億5,548万4千円に縮減されておりますが、歳出総額が約34億円減少したことから、義務的経費の歳出全体に占める構成比が前年度に比較し2.1ポイント増加し、38.5%となっております。

なお、これら義務的経費について、合併直前の平成16年度決算と比較した場合、人件費については職員の退職等により約30億円の減額となっております。また、公債費については、16年度決算額が66億1,000万円であったものの、合併前後の大型普通建設事業の財源として発行した市債の償還開始に伴い、22年度決算時には70億円を超えておりました。その後、公債費負担適正化計画に基づく市債発行額の抑制や任意繰上償還の実施により、26年度決算においては60億9,000万円までに縮減しており、16年度決算時より約5億2,000万円減少しております。

一方、扶助費については16年度決算に比べ倍増しておりますが、今後は国の新たな扶助制度が構築されない限りは、人口減少に伴い受給者が減少するため、人件費及び公債費と同様、減少になると見込んでおります。

また、このページに記載はありませんが、財政構造の弾力性を判断するための指標となる経常収支比率については、前年度と比較し0.9ポイント低下し、88.9%となったものの、22年度から5年連続で90%を切る比率となっております。

今後は合併特例期間の終了に伴う普通交付税の減により、比率の分母が年々減少することから、一層の経費縮減を図り、指標の改善に努めてまいります。

次に、全会計元利償還額と実質公債費比率の推移についてであります。

5ページをお開き願います。

平成19年に財政健全化法が制定され、これにより地方公共団体は、実質的な赤字や将来負担などを示す健全化判断比率と各公営企業の資金不足比率を毎年度公表することが義務付けられております。

指標の一つである実質公債費比率については、各自治体の実質的な公債費の負担の尺度を表すものであり、その指標が3カ年平均で18%を超えた場合、地方債の発行に際し、県知事の許可が必要となります。本市では、20年度決算において基準値の18%を超えたことから、公債費負担適正化計画に基づき、市債発行額の抑制や市債の任意繰上償還に努めた結果、25年度決算において基準値を下回る17.6%となり、平成26年度決算においては、さらに16.2%までに改善されております。

公営企業会計及び一部事務組合の地方債償還にかかわる一般会計負担額となる準元利償還金については、下水道事業の元金償還の開始等により年々増加してきましたが、28年度にそのピークを迎えることとなります。

また、環境事業組合の清掃センター建設に対する負担金が償還終了により減少することから、今後は減額になると見込んでおります。

一方で、市街地再開発事業・西部学校給食センター建設事業・峰山荘移転改築事業補助など、25年度及び26年度に実施した大型公共事業にかかわる市債償還の開始により、平成30年度以降、普通会計の元利償還金については、増加するものと見込んでおります。

また、人口減少や合併算定替えなどの終了などに伴い、普通交付税や臨時財政対策債などの減額により、比率の分母自体が年々縮小することなどから、各年度の臨時財政対策債を除く普通建設事業債等の市債発行額については、市債元金償還額総額の8割以内とすることを遵守するほか、実施事業を厳選した上で交付税算入率の高い有利な地方債を選択し、比率の改善に努めてまいります。

次に、市債現在高と将来負担比率についてであります。

6ページになります。

企業会計を含む全会計の年度末残高は1,010億7,818万8千円であり、前年度と比較し、1億8,347万2千円の減となっておりますが、西部学校給食センター建設のほか、特別養護老人ホームや広域中央斎場移転改築に多額の市債発行を行ったため、普通会計の市債残高は前年度よりも増加いたしております。

将来負担比率については、大仙市及び市が関係する一部事務組合などの負債が標準財政規模の何年分に相当するかを図る指標であり、各年度末の市債残高が少なければ少ないほど比率が改善することとなります。

26年度決算時の比率は、財政調整基金の積み増しなどによる充当財源の増、職員数

の減少により、前年度より3.4ポイント減の146.9%まで改善しております。

実質公債費比率及び将来負担比率については、全国類似団体や県内市町村の平均値を上回っておりますが、普通建設事業の実施内容や実施年度の見直しを早急に図り、市債発行額の抑制や職員数の適正管理に努めるほか、基金への一層の積み増しや可能な限り市債の繰上償還を行うことで、着実に将来負担の軽減を図ってまいります。

次に、基金現在高についてであります。

7ページをお願いします。

財政調整基金については、合併直後、財政調整基金の取り崩しにより財源不足を補った結果、20年度末には一時6億円までに残高が減少しましたが、その後の積み増しの結果、26年度末は29億5,674万5千円の残高を確保しております。

目標としてきました標準財政規模の約10%に当たる30億円については、27年度当初予算に1億円の積み増しを計上し、達成することができております。

また、減債基金については、25年度に大曲厚生医療センター建設支援の財源として発行した「だいせん夢未来債」にかかわる償還財源として、2,500万円を積み立てしております。

特定目的基金については、前年度より約2億3,000万円増となる45億8,481万9千円の残高となっております。このうち、地域振興基金40億円については、市町村合併により、それぞれの地域の活力が失われないよう、地域振興に資するソフト事業を計画的かつ安定的に実施するための基金として、旧合併特例法に基づき、積み立てたものであり、27年度以降、旧市町村の地域振興や地域住民の一体感の醸成のためのソフト事業等の充当財源として、毎年度2億円程度の活用を計画しております。

次に、主な財政指標についてであります。

8ページになります。

本表は、人口及び産業構造等により分類された当市と同規模にある全国197市町村の類似団体平均数値を青字で表示し、各指標数値についての比較を行ったものでありますので、後程ご参照ください。

最後に、普通交付税にかかわる合併算定替えの逡減・廃止について、ご説明いたします。

9ページをお願いします。

市町村合併が行われた場合、人件費や内部管理経費などの諸経費の節減が可能となり、

実際の需要額も減少するものと考えられますが、経費の節減は合併後直ちにできるものばかりではないことから、普通交付税の算定について特例措置が設けられ、この特例により、合併後10年間は旧市町村が存在するものとみなして計算した交付税額が交付され、その後5年間は交付税の算定額が段階的に縮減となります。

本市においては、平成26年度で合併特例期間が終了し、27年度から31年度までの5年間、普通交付税の逡減を経て、32年度には本来の一本算定となります。

昨年度末、国では合併算定替え終了後の新たな支援策として、合併に伴い面積が拡大したことで消防署や支所の維持管理経費などが嵩んでいることを踏まえ、合併後の実情に応じ算定方法を見直し、合併特例分の7割程度を確保し、特例期間終了後の影響緩和策を講ずることとしております。

しかしながら、32年度には現時点で約20億円前後の普通交付税が減となる見込みであり、さらには今後の人口減少等を勘案した場合、相当規模の普通交付税が減額になるものと予測しております。

当初予算においても説明したとおり、本市は地方交付税の依存度が高いため、市税等の自主財源の確保のほか、歳入に見合った歳出の見直しは必須であります。全職員が現下の財政状況を認識することが重要であり、真に必要なサービスを取捨選択し、施策事業の大転換を図らなければ、持続した行政運営の確保は難しいものと考えており、住民サービスの大きな低下を招くことのないよう、将来を見据えた安定した財政基盤の確立を図ってまいりたいというふうに考えております。

以上、平成26年度大仙市一般会計・特別会計の決算概要につきましてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

【久米副市長 降壇】

○副議長（富岡喜芳） 議案審査の説明中でございますけれども、この際、暫時休憩いたします。再開時刻は、午後2時にしたいと思います。よろしく願いいたします。

午後 1時47分 休 憩

.....

午後 1時59分 再 開

○副議長（富岡喜芳） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

○副議長（富岡喜芳） 次に、日程第37、議案第119号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。柴田市立大曲病院事務長。

【柴田病院事務長 登壇】

○病院事務長（柴田敬史） それでは、議案第119号、平成26年度市立大曲病院事業会計決算の認定について、ご説明申し上げます。

本議案につきましては、地方公営企業法第30条第4項の規定により、別添監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものであります。

それでは、お手元の資料No. 4「平成26年度大仙市公営企業会計決算書」の前半部分となります市立大曲病院事業会計決算書でご説明させていただきます。

はじめに、市立病院の運営状況についてであります。

決算書は16ページをお願いいたします。

ページ中段に、業務量として入院と外来の患者数を表にしております。

入院の年間延べ患者数は3万9,182人で、前年度と比較すると1,589人の減であります。この減少は、精神病棟、認知症病棟それぞれで病室の一部改修などを行ったために入院を抑制していた期間がございます。そのことが一つの原因となっております。一日の平均患者数は107.3人、病床利用率は89.5%となっております。

外来の年間延べ患者数は1万4,964人で、前年度と比較すると353人程の減となります。一日平均患者数は61.3人となっております。

次に、決算の内容について、ご説明申し上げます。

決算書はページを戻って、2ページ・3ページをお願いいたします。

決算報告書の（1）収益的収入及び支出であります。

これは、病院の経営活動によって発生した収益と費用になります。

当病院では26年4月から薬の院外処方箋の発行を開始しております。このため、本年26年度決算は、前年度までと比較しますと、外来患者の薬剤に関する収益及び費用が縮小した決算となっております。

さて、収入の第1款病院事業収益の決算額は、8億6,157万860円であります。

内訳としまして、第1項医業収益は、6億1,702万7,411円で、入院収益や外来収益などの合計であります。予算額と比較しますと3,876万1,589円の減となっておりますが、これは先程申しましたように入院患者数が伸びなかったことが大きな原因となっております。

第2項医業外収益は2億4,454万3,449円で、一般会計からの負担金と新会計制度により計上が義務化されました長期前受金戻入額が主なものとなります。

次に、支出の第1款病院事業費用の決算額は、8億4,660万5,287円であります。

内訳としまして、第1項医業費用は8億653万767円で、職員の給与費、医薬品などの材料費、光熱水費など経費、減価償却費などの合計であります。

不用額は4,068万3,233円、これは職員の休職などによる給与費の減、入院患者が少なかったことによる材料費の減によるものであります。

第2項医業外費用は、4,007万4,520円。支払利息や企業債の取り扱い諸費などで、大部分は企業債の利子償還金であります。

第3項予備費の支出はありませんでした。

以上、収益的収入及び支出においては、収支差引で1,496万5,573円の黒字となっております。

次に、決算書の4ページ・5ページ、(2)資本的収入及び支出について、ご説明申し上げます。

これは、建設改良など資産を形成するための収入と支出であります。

まず、収入については、第1款資本的収入の決算額は39万5千円で、病室改修工事に対する国庫補助金であります。

支出については、第1款資本的支出の決算額は1億1,549万4,519円あります。

内訳としまして、第1項建設改良費は、精神病棟看護室等の冷暖房改修、病室の改修などの工事請負費及び画像診断システムや服薬指導支援システムなど、器械備品の購入費であります。

第2項企業債償還金は8,774万5,323円で、企業債3件の元金償還金であります。

第3項予備費は支出はありませんでした。

なお、表の欄外に記載しておりますとおり、収入が支出に不足する額1億1,509万9,519円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしております。

続いて7ページをお願いいたします。

先程ご説明した収益的収入及び支出についての損益計算書であります。

下から4行目、収益から費用を差し引いた経常利益は1,496万5,573円であり、この額がそのまま当年度純利益となっております。これは前年度の当期純利益と比較すると1,619万6,736円の減となっているものです。

また、当年度末の未処分利益剰余金は、前年度から繰り越している利益剰余金と合わせて3,052万7,882円となっております。

最後に、この剰余金の処分について、ご説明申し上げます。

決算書は8ページ・9ページをお願いいたします。

2つの表のうち下段の表、平成26年度市立大曲病院事業剰余金処分計算書をご覧ください。

右端の未処分利益剰余金の下から3行目・2行目となります。これは、剰余金について、本年度第1回定例会で議決いただいた「大仙市病院事業の剰余金の処分等に関する条例」により処分しようとするもので、今年度発生した当年度純利益1,496万5,573円について、減債積立金として80万円、建設改良積立金として1,000万円を処分し、それぞれ企業債の償還、建設改良のために積み立て、残額については翌年度繰越利益剰余金としようとするものであります。

以上、平成26年度市立大曲病院事業会計決算の概要についてご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

【柴田病院事務長 降壇】

○副議長（富岡喜芳） 次に、日程第38、議案第120号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岩谷水道局長。

【岩谷水道局長 登壇】

○水道局長（岩谷友一郎） それでは、平成26年度大仙市上水道事業会計決算の認定につきまして、ご説明申し上げます。

資料No. 1、議案書では41ページになります。

議案第120号、平成26年度大仙市上水道事業会計決算の認定につきまして、地方公営企業法第30条第4項の規定により、別添監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものであります。

それでは、資料No. 4「平成26年度大仙市公営企業会計決算書」でご説明申し上げ

げます。

企業会計決算書の中程より後段の大仙市上水道事業会計決算書の14ページをお開き願います。

はじめに、平成26年度大仙市上水道事業報告書、1、概況のア．給水状況についてご報告いたします。

給水戸数は1万4,112戸で、前年度比で25戸増加しておりますが、給水人口は3万3,140人で前年度比566人の減となっております。計画給水人口3万3,517人に対する普及率は98.9%であります。

配水量につきましては、新規住宅、アパート等の増加により給水戸数が増加した一方で、給水人口の減少及び社会情勢の変化や節水傾向が進んでいることなどから、年間総配水量は、前年度比2.45%減、水量にして10万5,410m³減の419万7,860m³となっており、年間有収水量は前年度比2.13%減、水量にして8万1,656m³減の375万917m³で、これを年間総配水量で除した有収率は前年度比0.29ポイント増の89.35%となっております。

また、一日平均配水量は1万1,501m³、一日最大配水量は全国花火競技大会当日の8月23日に記録した1万4,369m³となっております。

それでは、決算内容につきまして、ページを戻っていただきまして、2ページ・3ページをお開き願います。

1、平成26年度大仙市上水道事業会計決算報告書に基づき、ご説明いたします。

この決算報告書は税込み価格で表記しております。

(1) 収益的収入及び支出は、水道局の経営活動に伴って発生した収益と、それに対応した費用が計上されております。

収入の部、第1款上水道事業収益は、決算額8億7,828万6千円で、予算額に対し593万4千円の減となっております。以下、千円未満、省略させていただきます。

内訳としまして、第1項営業収益は、決算額8億2,240万8千円で、主な収入は、水道料金8億1,465万8千円のほか、委託料、手数料など配水量の減少などから実質は減収であります。4月からの消費税8%への改正により、前年度比0.2%162万2千円の増となっております。

第2項営業外収益は、決算額5,587万7千円で、主な収入は、新会計制度により計上が義務化された長期前受金戻入額5,272万1千円のほか、他会計補助金として

仙北南地区簡易水道事業の企業債利子償還分に係る基準内繰入金などであります。

次に、支出の部、第1款上水道事業費用は、決算額6億6,204万6千円で、不用額7,367万7千円となっております。

内訳としまして、第1項営業費用は、決算額5億7,392万7千円で、主な支出は、原水及び浄水費、配水及び給水費、業務及び総係費、減価償却費及び資産減耗費などあります。

第2項営業外費用は、決算額8,714万3千円で企業債支払利息・消費税などあります。

第3項特別損失は、時効完成成分による欠損分など決算額97万5千円となっております。

第4項予備費の支出はありませんでした。

不用額のうち、主なものといたしましては、営業費用における委託料、修繕費・路面復旧費等の実績に伴う減額によるものであります。

次に、4ページ・5ページの(2)資本的収入及び支出は、経営規模拡大を図るために必要な施設の整備・拡充等の建設改良費や企業債の償還元金等が計上されており、資産をつくるための経費を計上しております。

収入の部、第1款資本的収入は、決算額2,544万7千円で、実績に伴い予算額に対し89万円の増となっております。

内訳としまして、第1項工事負担金は、決算額1,408万7千円で、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管移設工事負担金であります。

第2項負担金は、決算額642万2千円で、消火栓設置工事に伴う一般会計からの負担金であります。

第5項出資金は、決算額493万7千円で、一般会計からの出資金として、仙北南地区簡易水道事業の企業債元金償還分に係る基準内繰入金であります。

次に、支出の部、第1款資本的支出は、決算額3億1,707万2千円で、不用額1,812万1千円となっております。

内訳としまして、第1項建設改良費は、決算額1億8,879万8千円で、主な支出は、配水管の新設・改良及び移設工事など工事請負費14件、1億599万1千円、宇津台浄水場建設工事実施設計業務委託費7,236万円のほか、管路図台帳作成費、水道メーターなど営業設備費であります。

不用額の主なものといたしまして、工事請負費や委託費の請負差額によるものであります。

第2項企業債償還金は、決算額1億2,827万3千円で、財政融資資金及び金融公庫からの借り入れに対する償還金であります。

以上によりまして、4ページ下段欄外に記載のとおり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額2億9,162万4千円につきましては、減債積立金から1億円、建設改良積立金から1億円、過年度分損益勘定留保資金から7,767万3千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,395万1千円で補てんしております。

次に、7ページをお願いします。

先程の税込みで表記しておりました(1)収益的収入及び支出につきましては、消費税及び地方消費税を含まない損益計算書であります。

営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益から、さらに欠損金等の過年度損益修正損を差し引いた、下から3行目記載の当年度純利益は2億180万3千円となっており、前年度比2,062万8千円の増、率にして11.4%の増となっております。これは、収益の根幹を成す給水収益7億5,606万5千円は、配水量減に伴い、前年度比1,782万9千円の減、率にして2.3%の減となっておりますが、新会計制度により、減価償却費用の財源として、過年度の補助金・補償金等を長期前受金戻入として収益に計上することが義務化されたため、営業外収益の長期前受金戻入5,272万1千円の計上が当年度純利益が前年度に対して増となった主要因であります。

当年度純利益に前年度繰越利益剰余金を加えた当年度未処分利益剰余金は、2億1,054万9千円となっております。

次に、この剰余金の処分につきまして、ご説明申し上げます。

8ページをお願いします。

8ページの下段、4、平成26年度大仙市上水道事業剰余金処分計算書をご覧願います。

剰余金を本年第1回定例会でご承認いただいた「大仙市水道事業の剰余金の処分等に関する条例」により処分しようとするもので、当年度未処分利益剰余金2億1,054万9千円を、条例第2条により、減債積立金として1億円、建設改良積立金として1億円、合計2億円を処分し、それぞれ企業債の償還及び建設改良工事費への充当を目的に

積み立て、残額1,054万9千円は、翌年度繰越利益剰余金とするものであります。

以上、平成26年度大仙市上水道事業会計決算につきまして、ご説明申し上げましたが、今後とも効率的な事業執行に努めるとともに、安全・安心で安定した水道水の供給に努めてまいりますので、よろしくご審議の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

【岩谷水道局長 降壇】

○副議長（富岡喜芳） これにて、本定例会に上程されました議案についての説明が終了いたしました。

○副議長（富岡喜芳） お諮りいたします。議案等調査のため、8月28日から9月6日までの10日間、休会としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（富岡喜芳） ご異議なしと認めます。よって、8月28日から9月6日までの10日間、休会することに決定いたしました。

○副議長（富岡喜芳） 以上で本日の日程は、全て終了しました。

本日はこれをもって散会し、来たる9月7日、本会議2日目を定刻に開議いたします。
ご苦勞様でございました。

午後 2時23分 散 会